

2024 年度年次報告書

CRONOS 川原領域

2024 年度採択研究開発代表者

稲見 昌彦

東京大学 先端科学技術研究センター
教授

ボディバース：人と内臓とのインタラクション基盤の創成

研究開発体制：

和田 有史 （立命館大学 食マネジメント学部 教授）

岩槻 健 （東京農業大学 応用生物科学部 教授）

小早川 達 （産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 上級主任研究員）

1. 研究進捗状況と成果

全体としておおむね計画通り進捗している。具体的には、東大、農大、立命大、産総研の各拠点でワークショップを実施し、研究環境の見学およびデモや議論を交えたワークショップを開催し、円滑な共同研究のための基盤となる概念の整理・構築と新たな研究テーマの創出を実施した。また、非接触技術を用いた生体センシング手法の開発や、オルガノイドを用いた実験環境構築を実施した。さらに、メタバースを活用した食嗜好に関する実験において「憑依」下での食行動コントロールに関する予備的な知見を得た。

以上